



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社ショーケース 上場取引所 東
 コード番号 3909 URL http://www.showcase-tv.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 豊志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員兼経営企画部部長兼社長室室長 (氏名) 鈴木 浩介 (TEL) 03-6866-8555
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	1,128	77.0	83	43.7	△11	—	132	△54.0	△168	—
2018年12月期第3四半期	1,465	9.0	191	△25.0	167	△32.0	288	△12.3	28	△78.3

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △166百万円(—%) 2018年12月期第3四半期 118百万円(△6.4%)

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	△24.87	—
2018年12月期第3四半期	4.20	4.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	1,958	963	49.3
2018年12月期	2,535	1,181	46.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 964百万円 2018年12月期 1,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)				5.5	5.5

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	△25.1	80	△77.3	△16	—	134	△76.3	△170	—	△25.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期3Q	6,780,400株	2018年12月期	6,776,800株
2019年12月期3Q	一株	2018年12月期	一株
2019年12月期3Q	6,777,360株	2018年12月期3Q	6,775,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国際情勢の不安定により先行きが不透明な状況が続きましたが、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善傾向が継続するなど、政府による各種経済政策の効果を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。当社グループを取り巻くインターネット領域については、その主たる指標である国内インターネット広告市場が、2018年に前年比16.5%増の1兆7,589億円（出所：株式会社電通「2018年日本の広告費」）と引き続き高い成長を維持しております。また、もう一つの対面市場であるEC市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のECビジネス展開が加速しており、2018年国内BtoC-EC市場は前年比8.96%増の17.9兆円（出所：経済産業省「平成30年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」）と、こちらも高い成長を維持しております。

これに伴い、当社はオンラインビジネスのコンバージョン率（成約率）UPを実現する、Webマーケティング支援を中心とした事業展開を行っております。具体的には、特許技術（国内外）を活用したクラウド型のWebサイト最適化サービス「ナビキャストシリーズ」の提供や、Webサイトにおける不正アクセスなどに対するセキュリティ強化を目的とした「ProTech（プロテック）シリーズ」の提供をしております。その他、スマートフォンアプリサービスや最新テクノロジーを取り込んだサービスの開発と提供を行うことで、Webマーケティングの課題を統合的に解決する価値の高いサービスを提供しております。

また、連結子会社はHR事業をコア事業とする株式会社レーザービームと投資事業を行う株式会社Showcase Capitalの2社となります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,128,974千円（前年同四半期比23.0%減）、営業利益は83,718千円（前年同四半期比56.3%減）、経常損失は11,753千円（前年同四半期は経常利益167,110千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は168,551千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益28,473千円）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分の変更を行っております。変更の詳細は、「第4経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① マーケティングSaaS事業

（ナビキャストシリーズ&ProTechシリーズ）

「ナビキャストシリーズ」については、入力フォームの最適化サービス「フォームアシスト」を中心に順調に売上を拡大しております。特に「フォームアシスト」においては、高い改善効果が確認されている様々なオプション機能の提案を、金融機関の顧客を中心に積極展開したことによって売上拡大に大きく貢献いたしました。

以上の結果、マーケティングSaaS事業全体における売上高は773,701千円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益（営業利益）は566,126千円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

② 広告メディア事業

（広告関連サービス）

広告関連サービスについては、従来から提供してきた「ナビキャストAd」など運用広告関連サービスに加え、顧客のニーズに合わせたSNS広告、スマートフォンアプリ対応の動画プラットフォーム「SHOWCASE Ad」などを積極的に販売を開始し、売上に貢献いたしました。

（オウンドメディア）

スマートフォン関連ニュース系メディア「bitWave」が2019年9月末時点で月間850万PVを達成した事もあり、売上を大幅に伸ばし、広告メディア事業の売上に大きく貢献いたしました。また、新たにお金に関わる情報をわかりやすくお伝えする金融関連情報メディア「金融Lab.」をスタートいたしました。今後の売上貢献に期待してお

ります。

以上の結果、広告メディア事業全体における売上高は272,258千円（前年同四半期比81.7%増）、セグメント利益（営業利益）は89,481千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）18,849千円）となりました。

③ HR事業

政府が推進する「働き方改革」の流れや、人手不足時代の到来による企業の人材獲得ニーズの高まりを受け、デジタル人材紹介業が堅調に推移いたしました。

以上の結果、HR事業全体における売上高は24,477千円（前年同四半期比218.0%増）、セグメント利益（営業利益）は785千円（前年同四半期比88.3%減）となりました。

④ 投資事業

ベンチャーキャピタル事業を手掛ける「株式会社Showcase Capital」は、当第3四半期連結累計期間においては、出資は行いませんでした。

以上の結果、投資事業全体における売上高は一千円（前年同四半期は172,918千円）、セグメント損失（営業損失）は68,287千円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）119,071千円）となりました。

⑤ その他事業

（不動産業向けサービス）

不動産Webサイト管理システムである「仲介名人」については、前期と比べてほぼ横ばいで推移いたしました。

（スマートフォンアプリ）

クラウド型多言語オーディオガイドアプリシステム「Audio guide Q」は、堅調に売上に貢献いたしました。

以上の結果、その他事業全体における売上高は58,536千円（前年同四半期比82.0%減）、セグメント利益（営業利益）は24,536千円（前年同四半期は485千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度に比べて577,655千円減少し、1,958,168千円となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少246,146千円、投資有価証券の減少82,810千円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度に比べて360,090千円減少し、994,258千円となりました。主な内訳は、長期借入金の減少204,013千円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて217,565千円減少し、963,910千円となりました。主な内訳は、利益剰余金の減少168,551千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「通期連結業績予想の修正」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,728	1,161,582
受取手形及び売掛金	167,144	150,861
営業投資有価証券	116,454	67,512
その他	98,824	67,364
貸倒引当金	△3,105	△2,870
流動資産合計	1,787,046	1,444,449
固定資産		
有形固定資産	39,072	95,567
無形固定資産		
のれん	577	—
ソフトウェア	112,958	95,790
その他	45	45
無形固定資産合計	113,581	95,835
投資その他の資産		
投資有価証券	238,980	156,170
関係会社株式	63,910	—
敷金及び保証金	117,744	97,351
繰延税金資産	99,798	37,981
その他	101,997	92,535
貸倒引当金	△26,308	△61,722
投資その他の資産合計	596,123	322,316
固定資産合計	748,777	513,719
資産合計	2,535,824	1,958,168
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,684	19,153
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	260,036	260,615
未払法人税等	59,799	46,354
その他	92,867	81,300
流動負債合計	629,387	407,424
固定負債		
長期借入金	724,962	520,949
その他	—	65,885
固定負債合計	724,962	586,834
負債合計	1,354,349	994,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	337,041	337,380
資本剰余金	292,339	246,353
利益剰余金	549,427	380,875
株主資本合計	1,178,809	964,610
新株予約権	2,666	△700
純資産合計	1,181,475	963,910
負債純資産合計	2,535,824	1,958,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,465,574	1,128,974
売上原価	389,081	313,116
売上総利益	1,076,493	815,858
販売費及び一般管理費	885,073	732,140
営業利益	191,420	83,718
営業外収益		
受取利息	341	727
投資事業組合運用益	16,546	8,472
その他	873	1,007
営業外収益合計	17,761	10,208
営業外費用		
支払利息	4,616	5,805
貸倒引当金繰入額	31,895	35,179
持分法による投資損失	5,279	63,910
その他	280	784
営業外費用合計	42,071	105,680
経常利益又は経常損失(△)	167,110	△11,753
特別利益		
関係会社株式売却益	9,194	—
投資有価証券売却益	—	25,832
新株予約権戻入益	748	3,366
受取弁済金	4,465	—
受取和解金	—	21,500
事業譲渡益	—	18,518
持分変動利益	3,186	—
特別利益合計	17,594	69,217
特別損失		
固定資産除却損	—	26,206
減損損失	44,518	23,236
のれん償却額	90,692	—
投資有価証券評価損	296	71,811
その他	10,391	—
特別損失合計	145,899	121,255
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,805	△63,791
法人税、住民税及び事業税	11,997	41,259
法人税等調整額	9,051	61,816
法人税等合計	21,048	103,076
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,756	△166,868
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,716	1,683
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,473	△168,551

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	17,756	△166,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,690	—
その他の包括利益合計	100,690	—
四半期包括利益	118,447	△166,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,163	△168,551
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,716	1,683

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケ ティング SaaS事業	広告メ ディア事業	HR事業	投資事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	809,251	149,825	7,697	172,918	1,139,692	325,882	1,465,574	—	1,465,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	19,306	19,306	△19,306	—
計	809,251	149,825	7,697	172,918	1,139,692	345,189	1,484,881	△19,306	1,465,574
セグメント利益又は損失(△)	505,281	△18,849	6,695	119,071	612,198	485	612,684	△421,263	191,420

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産向けサービス事業、スマートフォンアプリ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△421,263千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「広告メディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては44,518千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「広告メディア事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失及びのれんの一括償却を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては135,211千円であります。また、連結子会社であった株式会社インクルーズが連結の範囲から除外となり持分法適用関連会社となったことにより、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては93,782千円あります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング SaaS事業	広告メディア 事業	HR事業	投資事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	773,701	272,258	24,477	—	1,070,438	58,536	1,128,974	—	1,128,974
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	3,250	—	3,250	3,386	6,636	△6,636	—
計	773,701	272,258	27,727	—	1,073,688	61,923	1,135,611	△6,636	1,128,974
セグメント利 益又は損失 (△)	566,126	89,481	785	△68,287	588,106	24,536	612,642	△528,924	83,718

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産向けサービス事業、スマートフォンアプリ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△528,924千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「クラウド事業」「コンテンツ事業」「投資事業」から、「マーケティングSaaS事業」「広告メディア事業」「HR事業」「投資事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「マーケティングSaaS事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては16,595千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。